町民はどう見てる？傍聴者インタビュー

今回の一般質問には67名の方が傍聴に訪れ、町民の関心の高さが伺えました。その中から2名の方にインタビューを行い、議会や質問内容について率直な意見をお聞きしました。



堀江（ほりえ） 恵子（けいこ）さん
（明徳大学・下舞木）

いろいろな質問がありましたが、最も身近に感じたのは、一人暮らしの家庭が現在673世帯あると聞いたことです。私自身もそのひとりであるため、とても関心を持ちました。長生きするためには、寝たきりや認知症にならないよう、自分なりに努力していきたいと思います。5年後、10年後も元気でいられるよう、地域のサロンなどの活動にも積極的に参加していきたいです。自分が関心のある質問を聞けて、非常に有意義な時間を過ごせました。



佐藤（さとう） きい子（こ）さん
（明徳大学・下舞木）

今日は傍聴して本当に良かったと思いました。町のことや日々の生活について、議会が様々な視点で考えていることが感じられました。特に、税金の使い方だけでなく、エネルギーの作り方など幅広いテーマに触れていたことが印象的でした。

普段は何も考えずに生活していることが多いですが、このような質問を通じて新たな視点を得ることができ、とても素晴らしい機会でした。

傍聴者アンケート結果を公開

実施した「一般質問傍聴者アンケート（傍聴者67名中60名回答）」では、多くの貴重なご意見をいただきました。町民の声をしっかりと受け止め、今後の議会運営や政策改善に活かしていきます。

1. 若年層の感想

・議会での議論を初めて体験し貴重な機会となりました。

・真剣に議論する姿や現場の緊張感を感じられました。

・経済や子供のことまで議論していることに驚きました。

2. 町の政策や環境課題に関する意見

・国道288号線の道路脇の草木が危険な個所が数カ所見受けられます。

・バイオマス発電に関し、原発事故の影響や輸入燃料などの問題をもっと詳しく調査してほしいです。

・身寄りのない高齢者の調査方法について、民生委員社協連携で調査が必要ではないでしょうか。

3. 議会全体に関する意見

・将来を見据え活発な議論を進めてほしいです。

・「他の自治体を参考に」とする答弁が多く、町の独自性に欠ける対応が心配です。

・冷房が強すぎたり、湿気がこもりやすいなど環境面が気になりました。

・みはる議会だより号外の文字が小さすぎるため読みづらいです。以前の形式が良かったです。

・課に事前照会すればわかる内容を議会で質問することに疑問を感じます。課で回答を受け、それに対する自分の考えを提案するべきではないでしょうか。